

ニュースヘッドラインを毎日配信中!

日刊CARGOメルマガ登録は

日刊CARGO 検索

沖縄県 国際物流ハブ活用セミナー



沖縄県は先週、大阪市内で、通販事業者などに向け同県の物流ハブ機能の活用を提案するセミナー「写真」を開催した。沖縄県では全日本空輸(ANA)の国際貨物ハブを中心に物流機能が拡充されている。加えて多くの外国人観光客が訪れるため、海外市場を開拓するための「プレ」マーケティング拠点としても同県の重要性が増しているという。セミナーではそうした現状と県の企業支援体制が紹介され、沖縄県を活用して海外市場に参入するメリットが説明された。

セミナーではまず、通販エキスパート協会の渡辺友枝代表理事が通販ビジネスの現状と今後について講演。渡辺代表は通販業界では今後、顧客の高齢化と少子化、市場の成熟化などによって新規顧客の開拓が難しくなることを指摘した上で、新市場として外国人旅行者市場に期待を示した。

次に、セミナーの事務局を務めるアイワークホレーション(東京都品川区、曾根和光社長)の中根治経営本部社長が、同社が沖縄マーケットの活性化について解説した。中根社長によると、沖縄県は官民一体となったブランドディングによって外国人旅行者を呼び込ん

正常化にはなお時間を要する見通し



西岸港湾労使は現地時間17日、5年間の新労働協約について暫定合意に達したと発表した。今後、ILWUの組合員投票を経て正式に発効する予定だ。ただ、長期化した港湾混雑の影響は当面続くと考えられ、荷役の正常化や滞船の解消など海上輸送サービスの回復には「最低でも1〜2ヵ月を要する」と(船主関係者)見通し。また、トラックや鉄道など米国内陸の物流正常化にはそれ以上の時間がかかる見られる。加えて、シャーシやトラック運搬手の不足など混雑格化の前から顕在化していた問題は残されているため、北米西岸港湾の輸送サービスがいつまで取り戻せるかは不透明感が残る。

内陸部での影響、長期化の恐れ

港でそれぞれ25隻前後と大量の船が滞船している。ヤード内でも大量のコンテナが積み残しされている。内陸部では、荷役の遅延が深刻化する前か、シャーシやドライバー不足といった問題が深刻化してきている。主要船社は昨年同様、西岸港湾に絞ってサービスを新しい形

西岸港湾労使が暫定合意 閉鎖回避も正常化への道遠く

米国内陸の物流正常化にはそれ以上の時間がかかる見られる。加えて、シャーシやトラック運搬手の不足など混雑格化の前から顕在化していた問題は残されているため、北米西岸港湾の輸送サービスがいつまで取り戻せるかは不透明感が残る。

また、内陸部についてはそれ以上に時間がかかる見込みだ。もともと西岸港湾では、荷役スローダウンで港湾混雑が深刻化する前か、シャーシやドライバー不足といった問題が深刻化してきている。主要船社は昨年同様、西岸港湾に絞ってサービスを新しい形

アジア向け販路開拓へ

日本と中国との間の輸送を主力とする物流会社、W.C.Space & Cafe Yokohama(本社:横浜市、陳勳社長)は23日、横濱本社を移転して中国・清時代の書画巨匠である呉昌碩氏と王季羣氏の原作展を開いた。初日に開催された式典には中国船主関係者や港関係者、書画・文化関係者多数が参加した。

呉氏は清朝末期から近代にかけて活躍した画家、書家、篆刻(てんこ)家、詩・書・画・篆刻に精通した「四絶」として評価されている。王氏は、清末から上海を中心に活躍した書家、銀行家、政治家として知られている。

ワイエスシー・エクスプレス 本社屋でカフェ開業 書画原作展を開催



日本と中国との間の輸送を主力とする物流会社、W.C.Space & Cafe Yokohama(本社:横浜市、陳勳社長)は23日、横濱本社を移転して中国・清時代の書画巨匠である呉昌碩氏と王季羣氏の原作展を開いた。初日に開催された式典には中国船主関係者や港関係者、書画・文化関係者多数が参加した。

呉氏は清朝末期から近代にかけて活躍した画家、書家、篆刻(てんこ)家、詩・書・画・篆刻に精通した「四絶」として評価されている。王氏は、清末から上海を中心に活躍した書家、銀行家、政治家として知られている。

日本通運 シーアンドエア

日本通運は17日、日本発ハワイ・ホノルル経由ロサンゼルス向けの新ルート「シーアンドエア」を正式に開始した。新サービスは、ロサンゼルスまで海上輸送後、ロサンゼルスまで貨物専用機で航空輸送する。新サービスは、ロサンゼルスまで積み替え後、ロサンゼルスまで航空機を利用する。また、港湾の混雑を避けるため、速な貨物の引き取り、輸入通関、配達を提供できる。ホノルルでは、同社現地法人の米国日通ハワイ営業所

英文編集版「Daily CARGO」発行

日刊CARGOは24日、英文編集版「Daily CARGO」(タブロイド判オールカラー、12頁)を発行しました。従来の英文編集版は日刊CARGOの第2部特集として大判新聞形態で製作されてきましたが、今回からはより海外で流通しやすいように紙面形態をタブロイド判に変更し、世界の物流イベントなどで日刊CARGO英文編集版としての浸透を図ります。

今回の英文編集版では中国自動車物流関連レポートをメイン特集とし、日本の主要エアカーゴ拠点である成田国際空港、中部国際空港のみならず、両

きょうの紙面

- 2面 田村航空局長会見、福岡滑走路増設などで16年度要求までに共通認識
- 3面 京浜港・運営会社、林市長が見解「横浜主導で利のある統合を」
- 4面 CARGO リポート メディカルジャパン 初の医療総合展、2万8000人来場
- 6面 1月の日本発航空輸出混載重量20%増の7万8115トン

物流企業の海外拠点[2015年版] アセアンシフトが鮮明に 米州でも再投資の動き

製造業の海外生産の流れは止まらず、流通業でも海外展開が加速。輸出入のみならず、海外地場物流でも日系品質が必要となる時代です。日系物流事業者の海外展開を網羅した、国際物流関係者必携の本誌を是非ご活用ください!

本誌の3つの特長

- 1 五十音順で手軽に検索 物流企業128社掲載
- 2 外資系企業のカテゴリも検索機能を強化
- 3 地域ごとに開設動向 北米・中南米・欧州・北アジア・東南アジアなど

日刊 CARGO 物流総合紙
Daily CARGO Transport & Logistics News

臨時増刊号 15 Dec.2014
定価 1,852円+税

購読申込は… 海事プレス社 販売部 ☎: 03-5835-4162 FAX: 03-5835-4160 E-mail: hanbai@daily-cargo.com